PROTEC PROFESSIONAL MOTORSPORTS EQUIPMENT　TOPGEAR®　2011/12 Ver.1.00

ローラーポジションインジケーター
ROLLER POSITION INDICATOR (HR-Y21)
【'09～ JOG-ZR Fi車 (SA39J) 】

車種専用ハーネスキット
取扱説明書

セット内容

●専用ハーネス x1 ●PG-110スピード信号変換機 ●PG-110用アルミステー
●マグネット、ドーナツ型テープ x各4 ●チェック用LED ●タイラップ(142mm) x5
本製品にはローラーポジションジケーター本体は含まれません。
別売りの【RPI-110】¥9,800(税込)が必要です。

注意事項

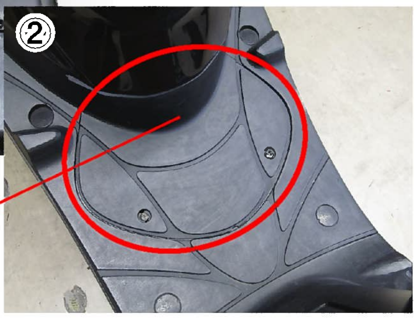
●本説明書は'09～JOG-ZR(SA39J)に対応する内容で記載致しております。
　車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
●RPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
　付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
●取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
　取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
●本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
　一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
●製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
　について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

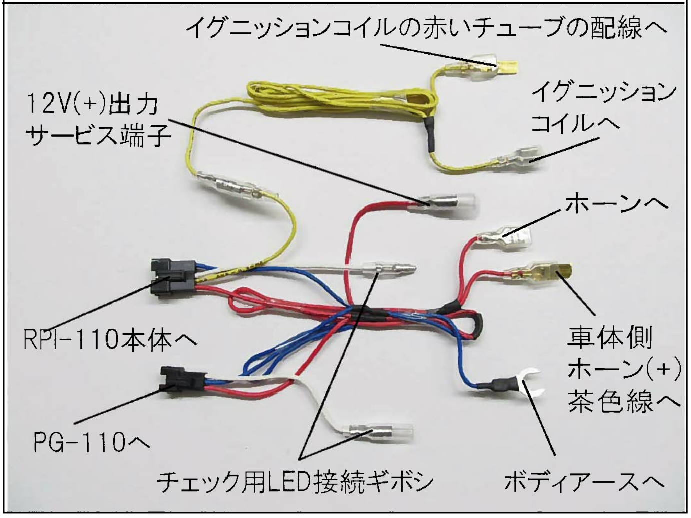
※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。
①フロントカバーを外します。
②フロアボードのバッテリーカバーを外します。

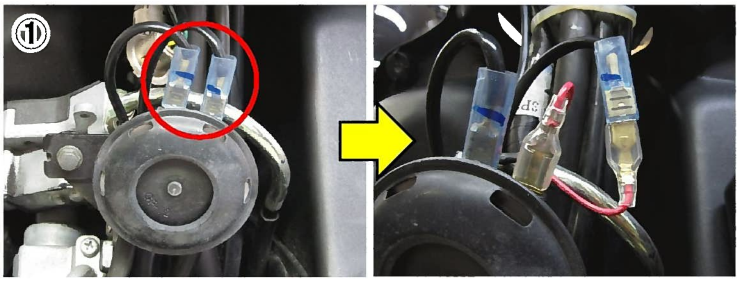


専用ハーネスの各部への接続先

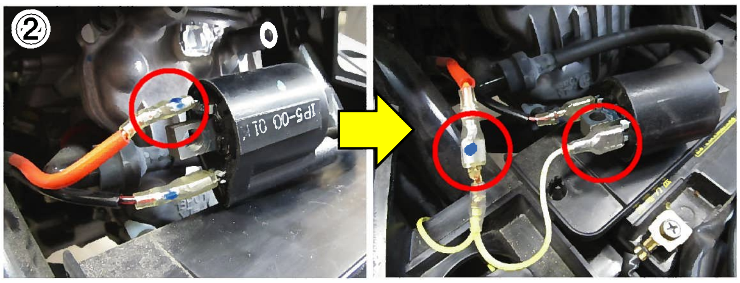


【専用ハーネスの取り付け】

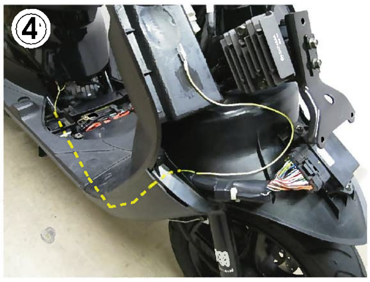
①専用ハーネスの赤線(平端子)をホーンと車体側ホーン(＋)線
　(茶色)の間に割込ませます。<u>※必ず茶色線に割り込ませます。</u>
②専用ハーネスの黄色線をイグニッションコイルの上側端子と
　車体側の赤いチューブ側(オレンジ線)の間に割込ませます。
③専用ハーネスの青線をボディーアースへ接続します。
④イグニッションコイルへ接続した黄色線を、専用ハーネスまで
　取り回して接続します。
※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の
　接続を始め、アクセサリー電源として多目的に活用頂けます。



※ホーンの(＋)は茶色線です。
　(－)側はピンク線ですので間違わないようご注意ください。



※専用ハーネスの黄色線(平端子)はイグニッションコイルの
　オレンジ線(赤いチューブの線側)に割り込ませます。

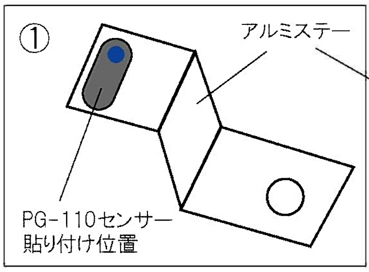


【RPI本体の取り付け】

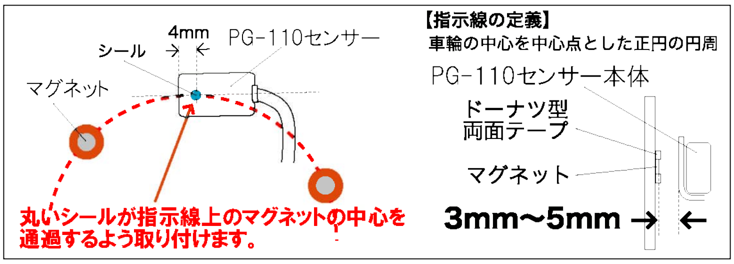
①メーター周りのお好みの位置にRPI-110本体を両面テープ
　を使って貼り付けます。
※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやRPI本体の配線に
　無理な力が加わないよう取り回し、タイラップで固定してください。
※ 後ほどローラーポジション設定 並びに、REVインジケーターの
　設定を行いますので仮付けにしてください。
②RPI-110本体コードをフロントカバー内の専用ハーネスまで通し、
　専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

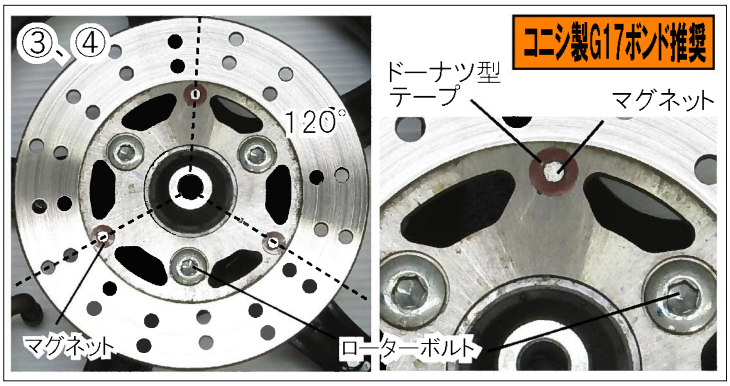
①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示した
アクスルシャフトで共締めします。PG-110センサーとマグネット
との隙間は3～5mmの範囲で調整します。



下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローターにマグネットを**3箇所**貼付けます。

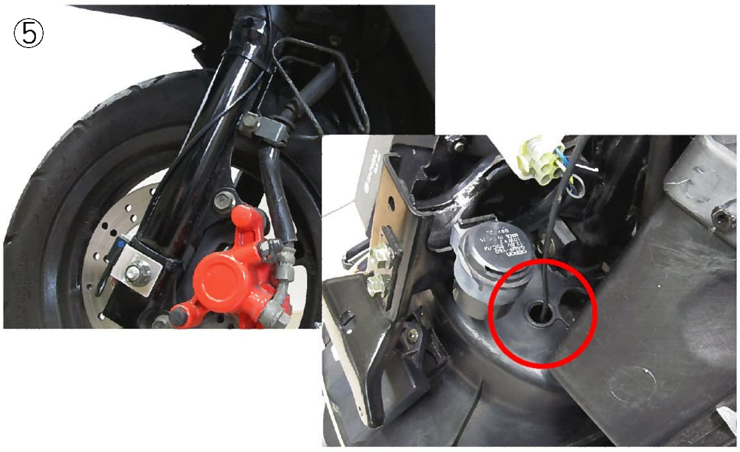


③ドーナツ型のガイドテープを120°間隔で貼ります。
④マグネットを市販の金属用ボンド使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し120°になるように
等間隔に配置します。ディスクローターボルトが120°間隔に
3つありますので、それを目安にしてください。



⑤PG-110のコードはフロントフォークに沿ってタイラップで縛り、
インナーの穴を通し、巻き込みやストローク時に引っ張られない
ように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。

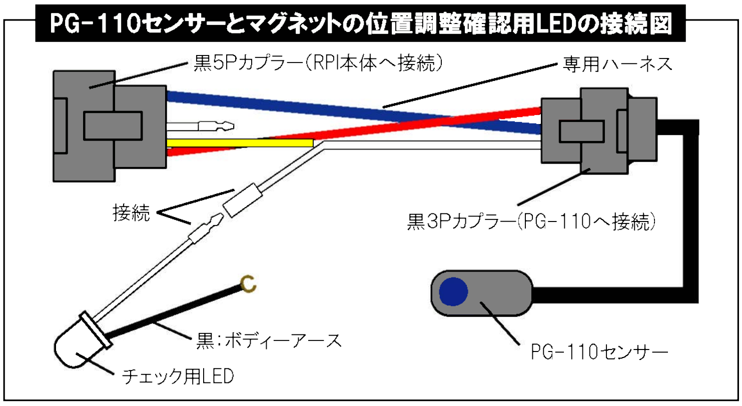
⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ
接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。



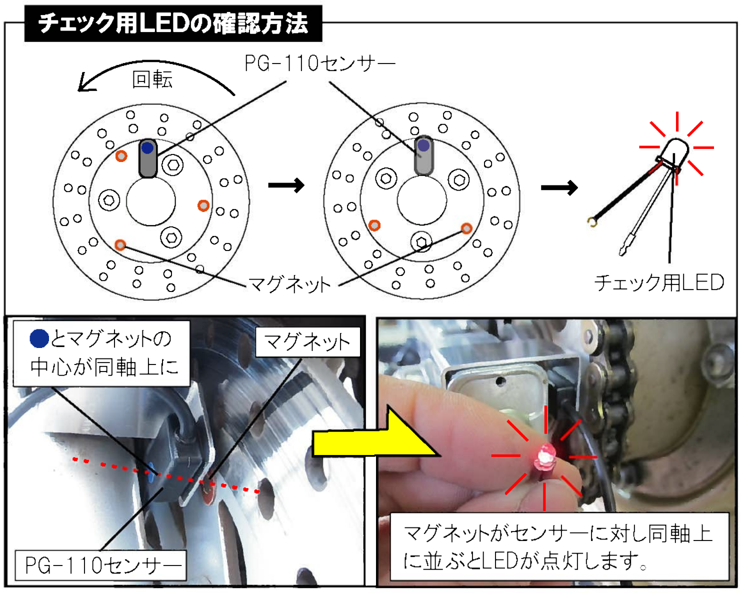
【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる
白線のギボシ端子を外します。
チェック用LEDの白線を黒3Pカプラーの白線のメスギボシ側へ
接続します。
②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)はボディーアース
へ接続してください。
③イグニッションキーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、
マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、
通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。
全て点灯していれば正常です。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



イグニッションキーをONにし、フロントホイールをゆっくりと回転させます。
PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせると
チェック用のLEDが点灯します。
※12Vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入って
いないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置
が合っていませんので、マグネットを貼り直し再調整してください。
※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、
必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。
※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後
多目的にご利用頂けます。

■フロントカウル内に専用ハーネス類を収納し、フロントカウル、
フロアボードのバッテリーカバーを元に戻して完了です。

ローラーポジション及び、REVインジケーターの登録方法や、
エラー表示の詳細は、別売りのローラーポジションインジケーター
(RPI-110)の取扱説明書をご覧ください